

CT 造影検査時の注意事項

●1.使用目的

造影剤を静脈内に注入することにより、病気をより正確に診断する上で現在欠かすことができない検査の一つです。造影剤を用いなくても CT 検査は可能ですが、より正確な診断、治療をする目的で使用します。

●2.造影剤の副作用

ヨード造影剤は基本的に安全な薬剤とされています。しかしまれに次のような副作用が報告されています。

軽い副作用：吐き気、動悸、かゆみ、頭痛、くしゃみなど：20 人に 1 人の割合

このような場合すぐに症状は治まり通常心配ありません。

重い副作用：低血圧ショック、呼吸停止、心停止、腎不全など

このような場合すぐ適切な処置をし、入院治療を要します（2.5 万人に 1 人）。場合によっては死亡する例（40 万人に 1 人）もあると報告されています。

遅発性副作用：検査後 1 時間から数日の間に軽い頭痛、吐き気、発疹、かゆみ等が現れる事があります。

造影剤を注入中に、血管外に造影剤が漏れる場合があります、場合によっては注射針の刺し直しを行う事があります。また露出した部位に腫れや痛みを伴う事がありますが、自然に吸収され心配ないですが、まれに処置が必要な場合があります。

●3.禁忌 検査は行いません

- ・ヨード又はヨード造影剤に過敏症の既往歴がある方
- ・重篤な甲状腺疾患のある方

●4.原則禁忌

以下の方は副作用の頻度が高くなるとされています。医師と相談の上検査を受けてください。

- 今までにヨード造影剤使用した後に血圧低下、呼吸困難、著明な蕁麻疹、顔面/咽頭浮腫をおこした事がある方
- 気管支喘息（治療中）○腎臓の機能が悪い方○重篤な心障害のある方○重篤な肝障害のある方
- マクログロブリン血症の方○多発性骨髄腫の方○テタニーのある方○褐色細胞腫のある方

●5.糖尿病薬服薬中の方

以下の糖尿病薬服薬の方は該当薬に○を付け、**検査日前後 2 日間（合計 5 日間）休薬**してください。

メトグルコ、メトホルミン、グリコラン、イニシク、メタクト、
エクメット、メトアナ、ジベトス、ジベトン、ブホルミン

●6.妊娠中の方へ

原則検査は行いません

授乳中の方は特に制限無く検査可能です。

●7.急変時の対応

万が一副作用が起こった場合には迅速かつ最善の処置を行います。極めてまれですが重篤な副作用の場合は院内放送により院内の医師、医療スタッフが総動員する緊急時システムが確立されています。

岡崎市民病院 地域医療連携室（0564-66-7262）

岡崎市民病院 放射線科（0564-66-7160）